

みやこ町図書館だより 2013冬

# ふくろうの森通信



発行 2013年1月1日 第19号

あけまして おめでとうございます。

昨年は待望の移動図書館「にこにこ号」が走り出し、豊津、犀川、勝山の小学校や保育所で本の貸出をはじめました。どこに行っても「にこにこ号」はこども達の人気者でした。おかげさまで、本の貸出も順調で喜ばしいことです。今年も移動図書館のみならず、みなさまのお役にたてる図書館を目指して、職員一同がんばりますので、よろしく願いいたします。



秋の読書週間関連事業

## 伊藤比呂美 講演会

比呂美の万事OK 「おんなの生き方」

昨年は、10月7日に詩人の伊藤比呂美さんを招いて講演会を開催しました。

現在、西日本新聞で毎週火曜日に掲載している人生相談「比呂美の万事OK」が大変好評で、当日会場でも人生相談を受け付けました。皆さんの悩みについてすっきり、はっきり、真剣にそして笑いを交えながら解決していただきました。

伊藤比呂美さんご自身はバイタリティにあふれた生き方をされており、世界を駆け回り仕事をしておられます。講演のテーマは「おんなの生き方」で、両親の介護、子育てなど身近な問題に参加者は共感し、大変有意義な時間を過ごすことができました。





## シリーズ「作家探訪」第3回

# 松本清張

### 【プロフィール】

1909年福岡県企救郡板櫃村（現・北九州市）生まれ。本名・清張。川北電気工業の給仕、高崎印刷所の石版印刷見習工などを経て、1939年（昭和14年）朝日新聞九州支社の広告部勤務。1943年（昭和18年）3カ月の教育召集後、再召集となり入隊。旧朝鮮で敗戦。

復員後、朝日新聞西部本社に復職して広告部でデザインを担当するかたわら、40歳を過ぎてから本格的に小説を書き始める。1950年（昭和25年）、「週刊朝日」募集の「百万人の小説」に『西郷札』で応募し入選、直木賞候補にもなった。この作品執筆後、『或る「小倉日記」伝』で芥川賞を受賞。1956年（昭和31年）朝日新聞社を退社後、文筆生活に入る。

### 【トリック・謎解き】

清張の作品には、古典的な探偵小説に見られるような、万能で天才的な能力を発揮する主人公は登場しない。主人公の多くは、うだつのあがらない市民だったり出世コースから外れた刑事だったりする。特権的な場所から事件を解くのではなく、市民・庶民的な生活の次元から地道に真相が探られて行くのである。

推理小説ブームのきっかけを作った『点と線』の時刻表トリックは、あまりにも有名である。

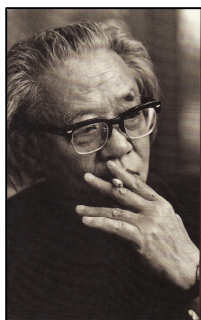
### 【点と線】

寒い冬のある朝、一人の労働者が通勤途中博多湾を見渡す海岸香椎潟に、中年男女二人の寄り添った死体を発見する。男は汚職が摘発されている某省の課長補佐・佐山憲一、女は赤坂の料亭「小雪」の仲居お時であった。青酸カリによる心中と見られたので、それ以上の捜査は不必要とされた。

しかし、香椎署の鳥飼刑事は佐山が列車食堂の領収書一人分だけを持っていたのに疑問をいだく…。

(1958 刊行)

### 【著書と映画】



40歳を過ぎての作家デビュー。歴史小説から推理小説、ノンフィクションまで、生涯で700冊以上の著書を刊行。

映画は36本、テレビドラマは500作品以上が制作され、今もリメイクが続いている。

### 【代表作】

- ・『或る「小倉日記」伝』 1952年
- ・『点と線』 1958年
- ・『ゼロの焦点』 1959年
- ・『砂の器』 1962年
- ・『Dの複合』 1968年
- ・『黒革の手帖』 1980年



### ※参考文献

「松本清張事典」歴史と文学の会／編 勉誠出版

「松本清張記念館図録」北九州市立松本清張記念館

「福岡と芥川賞・直木賞 その作家と作品」福岡市総合図書館 文学・文書課文学係／編

# としょかん司書お勧め チェック本

## 【一般向け】

「スープの教科書」

渡辺 有子 (著) 家の光協会



スープを手軽においしく作るには？素材のうまみを上手に引き出す方法を紹介。

1年中楽しめるスープと、季節ごとのスープを収録。この冬場、気持ちもおなかもあったかくしてくれるスープはいかがですか？

(2011)

## 【児童向け】

「100 回目のお引っ越し」

後藤 みわこ (著) 講談社



おじさんが営む引っ越し屋を手伝うことになったタツル。

記念すべき 100 件目は「引っ越したくない」という、頑固なおばあさんが相手だった！？

名古屋を舞台にした、引越し人情物語。(2012)

# ～ほっこりする本～

## 【一般向け】

「生協の白石さん 学びと成長」

白石昌則 (著) ポプラ社



学生や社会人からツイッターなどに寄せられた「学びと成長」に回答たっぷり。

93 万部を突破した「生協の白石さん」が送るほっこり人生相談！(2012)

## 【児童向け】

「かあさんのこもりうた」

こんのひとみ(作) いもとようこ(絵) 金の星社



くまの母さんは、子供たちが寝る前にいつも子守歌を歌ってくれた。ある日家族に食べさせようとりんごを摘みに出かけた母さんは、大きな嵐に襲われ二度と戻ってくることはなかった。

悲しむ兄弟たちの耳に、母さんの子守歌が外から聞こえてきた。

東日本津波で亡くなった母から手紙が届いたという実際にあった奇跡から生まれた絵本。(2012)

# レファレンス

あなたの調べもの お手伝いします。

【質問】鏡餅について知りたい。飾るものにはどんな意味があるのですか。

【回答】鏡餅は、正月に年神さまへの供え物として飾ります。

鏡餅という名称は、神事などに使われる三種の神器（歴代の天皇が受け継いだ三種の宝物）の一つである八咫鏡に由来するといわれています。鏡餅の形は、元来は平らなものが中心でしたが、最近では、中央が膨らんだものを日（陰）月（陽）と歳を重ねて二つ盛ります。このようにすることで、福が重なるという意味だとされています。

- ・裏白 白髪が生えるまで元気にという長寿の願い。裏表のない心を持ち続けるように。
- ・ゆずり葉 親から子に譲るとい子孫繁栄の祈り。
- ・干し柿 外側に二個ずつ、内側に六個串にさし、「外はにこにこ、内（なか）睦まじく」
- ・橙 家が代々繁盛しますようにということて置きます。

『まいにち、うきうき。和の暦』 堀川 波／著 （朝日新聞出版）

『和のしきたり』 新谷 尚紀／監修 （日本文芸社）

『家庭画報のお正月しきたりと料理』 （世界文化社）





1月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

※ 1月1日(火)から1月4日(金)まで  
休館します。

2月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		

3月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

開館時間 : 10時から18時まで

休館日 : 毎週月曜日

毎月最終木曜日

(木曜日が祝日の場合翌日)

お問い合わせ

●みやこ町中央図書館

みやこ町豊津 1122-12 ☎33-1040

●みやこ町犀川図書館

みやこ町犀川古川 50 ☎42-3330

●みやこ町勝山図書館

みやこ町勝山黒田 86-1 ☎32-3455

ホームページアドレス

<http://www.town.miyako.lg.jp/library/top.jsp>

# 本のある風景

## 【ブック・リサイクル】

10月26日からみやこ町の各図書館でブック・リサイクルを行いました。図書館で役目を終えた図書や雑誌のバックナンバーを中心に、利用者みなさんにお持ち帰りいただきました。

たくさんのご来場、ありがとうございました。

(中央図書館での様子)



## 図書館からのお願い

最近図書館の本たちに悲しい出来事がおこっています。一部の心無い人によって、新刊の雑誌が無断で持ち帰られたり、付録が抜き取られたり、ひどい時は付録を引き破って持ち去られています。

他の方が利用できず本当に困っています。

図書館の本は全てみやこ町住民の方の財産です。

決して勝手に持ち出さないようにして下さい。

利用する方々がお互いに、気持ちよく利用できますよう  
にお願いします。



### 編集後記

新年、おめでとうございます。今年はどうな作品に出会えるのか、ワクワクします。

今回は、松本清張の特集をしました。著者の作品は、様々なドラマ目にすることが多いですね。小倉を舞台にした作品もあります。今年ぜひ著者の作品にふれてみたいですね。(小)

